

# 熊本地震からの創造的復興への「軌跡」

～全国のNN技術職員の皆様へ 感謝の気持ちを込めて～

創刊号 H29.6. 30 発行

## 《発刊にあたって》

未曾有の被害をもたらした熊本地震の発生から1年が経過しました。振り返れば県民とともに、一つ一つ目の前の困難に立ち向かい、懸命に走り続けた1年であったと思います。この間、全国各地からいただきました暖かいご支援に対して、感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、農業土木分野では、本年1月に5, 193件の災害査定が無事完了し、本格的な復旧の取り組みを始めたところです。発災直後から、全国から多くの技術者を派遣いただき、チーム熊本の一員として、災害復旧に取り組んでいただいたことに対して、厚くお礼を申し上げます。おかげをもちまして、復旧も徐々に進み、被災した農地の一部では以前のような田植えの風景が見られるなど、営農再開の便りが県内各地から届くようになりました。しかしながら一方では、未だ作付けが出来ない農地や「水が来ない、水がたまらない」水田もあり、早期の復旧が待ち望まれています。

そのため本県では、昨年12月に「熊本復旧・復興4ヵ年戦略」を策定し、平成30年度までに営農再開100%を目指して、取り組みを進めているところです。

この目標を達成するためには、農地や農業用施設の復旧が待ったなしであり、加えて復旧・復興を通じて、くまもと農業の更なる発展につなげる「創造的復興」にも取り組んでいくことも必要です。

しかしながらこれらの取り組みは、全国の農業土木技術者の皆様のご支援なしには、成し遂げることは出来ません。

これまで頂きました、ご支援に心から感謝するとともに、今後の本県農業の更なる発展に向けて、引き続き息の長いご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

熊本県知事 南 島 郁 夫

## 乙ヶ瀬地区(南阿蘇村)の創造的復興のすがた

～ 復旧を契機とした農地の大区画化、農地集積の加速化、さらには高収益作物の導入による地域農業の発展 ～

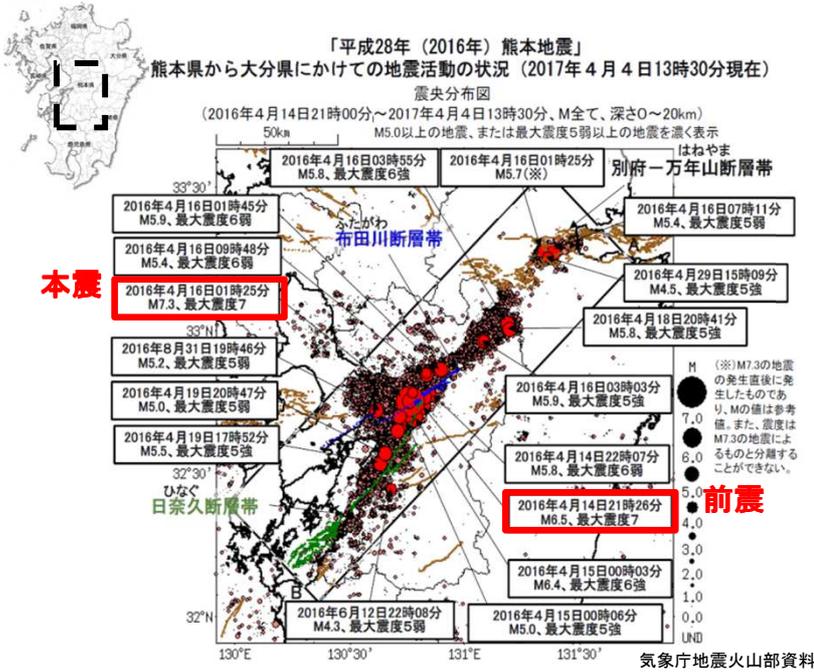
《完成後のすがた》

- ・被災農地を含めて、約26haを整備。
- ・区画：一部で大区画化 標準区画40aに拡大
- ・農地集積率：11% ⇒ 71%に増加
- ・担い手：1名 ⇒ 7名に増加
- ・高収益作物の導入  
水稲、飼料作物 ⇒ 白菜、高菜、里芋

中山間地域のモデルとして推進

※創造的復興とは、被災した土地(農地)や施設等を単に元の姿に戻すだけでなく、更なる発展に繋げることです。

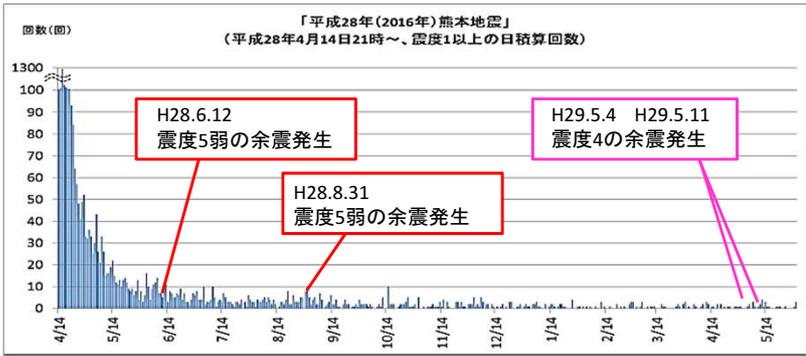
# ～平成28年災害(熊本地震、豪雨、台風)の被害概要～



▲写真 益城町下陣(農地の亀裂)

熊本地震による農地等(土地改良関係)被害額

部門	概要	被害箇所 被害金額
農地等	田	法面崩壊、亀裂・クラック、液状化等 7,674箇所 218億円
	畑	法面崩壊、亀裂・クラック(牧野含む)、液状化等 3,498箇所 54億円
	農業用施設	ため池の堤体損傷、用排水路及び用排水機場の損傷、農道等 4,970箇所 392億円
	生活関連施設	農業集落排水施設の破損 3箇所 3億円
	海岸施設	農地海岸堤防の液状化、クラック等 70箇所 35億円
	農地等被害額 計	



期間*	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	備考
2016/4/14～2017/06/21	2577	1168	410	117	12	5	3	2	2	4296	

★熊本地震(4月14日、16日)後に、緩んだ地盤等もあいまって、豪雨、台風による被害が発生し、平成28年災害としての被害額は**948億円**となりました。  
(農地等(農業用施設等含む)被害額948億円は地震被害:701億円、豪雨台風等被害247億円)

## 平成28年災害における災害査定状況 (農地及び農業用施設のみ)

(単位:千円)

発生年	被害報告		査定結果		
	箇所数	被災金額	箇所数	査定額	1件あたり査定額
H28熊本地震	16,142	66,367,300	2,357	20,172,864	8,559
H28梅雨他	14,633	24,696,900	2,836	5,954,731	2,100
計(平成28年)	30,775	91,064,200	5,193	26,127,595	5,031

平成28年災の災害査定は、平成28年6月27日から着手し、平成29年1月13日(延べ108班)で終了しました。  
災害査定箇所は5,193件、査定額は261億円となっています。

※農地海岸及び農業集落排水施設は除く。

# ～災害からの復旧・復興に向けて～

## 1 現在の復旧・復興の状況(H29.3.31時点)

災害復旧事業では、県営19地区(査定件数186件)、団体営5,007件のうち、県営13地区(46件)、団体営895件の工事発注を終え、復旧工事が行われています。(発注率18.1%)

一方、多くの農家が、被災を受けなかった農地や施設等で営農を継続したり、また、被災した農地や施設においては、自力復旧や作物転換等により営農を再開しました。これにより、営農再開率は、92.3%となりました。

( ※ 営農再開率 ～ 営農再開を目指す農家約12,000戸に対する割合 )



県営阿蘇谷地区農地復旧工事実施状況(阿蘇市)



県営三角地区農道復旧工事実施状況(宇城市)

## 2 平成29年度の計画

平成30年度末までの営農再開率100%に向け、引き続き復旧・復興工事を実施し、今年度末までに、営農再開率を98.4%まで向上させる計画としています。

なお、平成29年度予算<sup>※</sup>は、県営災害復旧事業57億円、団体営災害復旧事業213億円を計上しています。

※平成29年度予算には平成28年度からの繰越予算を含む

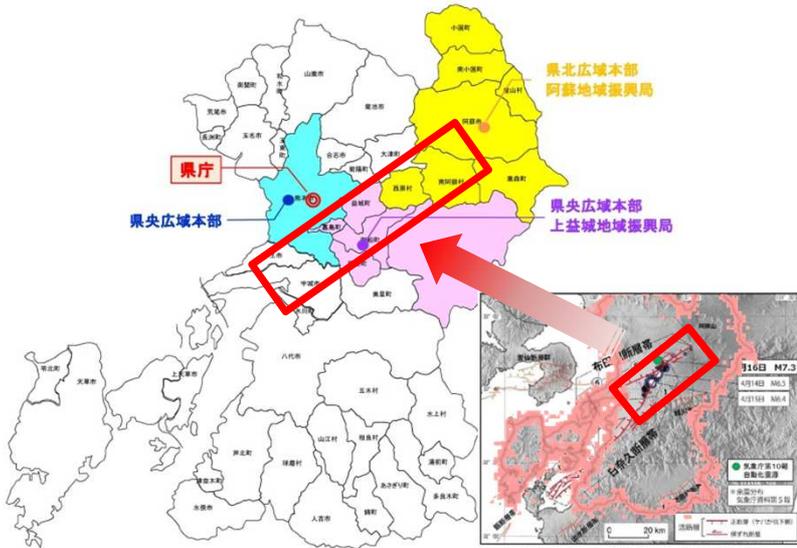
## 3 復旧・復興スケジュール(ロードマップ)

目標	H28	H29	H30	H31	(特記事項)
①農地及び農業用施設の早期復旧・復興	被害状況調査 農家等が自ら行う 応急工事・簡易な復旧工事支援	順次復旧 災害復旧事業の実施	復旧完了		※県内の約2,000haで災害復旧
②未来につながる基盤整備	関係者との合意形成 事業計画査定	同意取得・法手続き 設計	工事毎に順次完了		※阿蘇谷、秋津の2地区で実施
※参考 農業分野の創造的復興に向けた重点項目について	営農再開を目指す農家数 約12,000戸	再開率 92.3%	再開率 98.4% 【目標】	再開率 100%	

# ～派遣職員からのたより～

## 1 派遣先一覧

(平成29年6月30日時点)



地震調査研究推進本部資料より

### 派遣職員配属先一覧

県庁 農地整備課	2名 (2名)
県中央広域本部 農地整備課	2名 (2名)
県中央広域本部 上益城地域振興局 農地整備課	5名 (5名)
県北広域本部 阿蘇地域振興局 農地整備課	5名 (6名)
平成29年度 派遣職員数 計	14名 (15名)

### 【参考】

( )は派遣職員の累計者数

平成28年度は、40名※のNN技術職員を各県から派遣いただきました。  
※発災直後の派遣職員(短期間)の人数を除く。

## 2 派遣職員の自己紹介

### 氏名

西 耕一郎 参事

### 派遣元所属

福岡県農林水産部農林水産政策課

### 派遣先所属

熊本県農林水産部農村振興局農地整備課

### 現在の業務について

団体営災害復旧事業の計画変更に係る事務手続き(農政局及び財務局との打合せ、協議等)

### 熊本県での生活(住環境)について

居住地は通勤には自転車が必須ですが、中心部には徒歩で行ける場所にあり、また、家具も一通り揃っているのでとても快適です。17年振りの独身生活で、羽が広がりもうすぐ飛び立てそうです。

### 今後派遣で熊本県に来る方へのコメント

通常では中々出来ない貴重な経験を得ることが出来る機会です。職場は熊本県職員の方に色々とお気遣いいただき、働きやすい環境で心配無用です。



西参事(左)、島村参事(右)  
撮影場所:  
南阿蘇村 あそ望の郷こぎの

### 氏名

島村 太郎 参事

### 派遣元所属

鹿児島県農政部 農地整備課

### 派遣先所属

熊本県農林水産部 農村振興局農地整備課

### 現在の業務について

団体営災害復旧事業の計画変更に係る事務手続き(農政局及び財務局との打合せ、協議等)

### 熊本県での生活(住環境)について

3月末まで奄美の徳之島に赴任していましたので、都市での生活に不安がありましたが、4月早々にバイクや服飾品を『爆買い』し、経済面での貢献は高いレベルに達しております。私の住居は県庁までバイクで20分程ですが、懇親会の後でも繁華街から歩いて帰ることができるのでとても便利です。

### 今後派遣で熊本県に来る方へのコメント

まだまだ農業土木職員が求められています。派遣職員だからこそできることがあるはず。熊本の復旧・復興のために頑張ってください!!



島村参事(手前)、西参事(奥)  
撮影場所: 県庁農地整備課

☞次回は県中央広域本部に派遣いただいている職員をご紹介します。

## ～広報～

### 1 多面的機能支払を活用した応急復旧のようす

◆ここでは、本県の若手職員による様々な熊本県の特集をお届けします。

◎城南地区農地・水・環境保全管理協定運営委員会



水路の被災



自力復旧



通水完了

営農再開

昨年度、田植えを控えた熊本市南部に位置する城南地区にお邪魔し、被災直後から無事田植えを迎えるまでに地域が取り組んだ自力復旧の様子をTV局が取材し、我々も同行取材して参りました。(H28.7.6放送)

取材を終え感じたことは、地震に負けず「今年も田植えをするぞ」と言う農家の強い思いと、地域の結束力の強さです。これこそが、今日の「農業県くまもと」が築き上げられた『**農力(農業・農家の力)**』です。この地域では、これら迅速な取組によって発災初年度の昨年度も多くの農地で例年と変わらない実りの秋を迎えることができました。本地域では現在、田植えの最盛期を迎えており、農家の皆様が朝から晩までがまだされています。

※がまだす：精を出す。頑張る。を意味する熊本の方言



### 2 H28派遣職員懇親会のようす

#### ①知事公邸での招宴



蒲島知事(左)  
神里主任技師(右) (派遣元: 沖縄県)

平成28年10月17日に派遣職員を知事公邸に案内し、宴が開催されました。蒲島知事と直接お話しできる貴重な機会となったようです。

#### ②農業土木派遣職員意見交換会・懇親会



平成29年2月16日に当時の派遣職員(15名)を対象に業務内容や職場環境、生活環境等について意見交換会を開催しました。

意見を踏まえ、派遣職員の方々の職場環境や生活環境の充実が図られるよう、改善策を検討しました。

なお、意見交換会終了後には懇親会を開催し、さらに多くの意見を聞くことができ、大変貴重な宴となりました。

今後も引き続き定期的に意見交換会や懇親会を開催し交流を図っていきます。

◇本年度は4月24日に意見交換会及び懇親会を開催しました。

皆さん、熊本県へのご支援ありがとうございます！

### 3 イベントのお知らせ

#### (1) 農林水産省「消費者の部屋」に展示を行います！

熊本県が取り組む熊本地震からの復旧・復興の取組及び『2017ため池フォーラムinくまもと』について、全国の方々に広く認知頂くとともに、復旧・復興に向けた更なる機運の醸成を図ることを目的として開催します。

- 展示日時 平成29年8月14日(月)～8月18日(金) 10時～17時  
8月14日は本県職員が常駐しています。
- 開催場所 農林水産省 北別館1階「消費者の部屋」

#### (2) 「2017ため池フォーラムinくまもと」が開催されます！

熊本地震やその後の豪雨により、県内各地では「ため池」をはじめ、農業用施設が被災しました。傷ついた熊本を一日も早く復活させ、災害に強く、誇れる資産(たから)を次世代につなぐことを目指し、全国からの多くの御支援を頂きながら、復旧・復興に取り組んでいるところです。

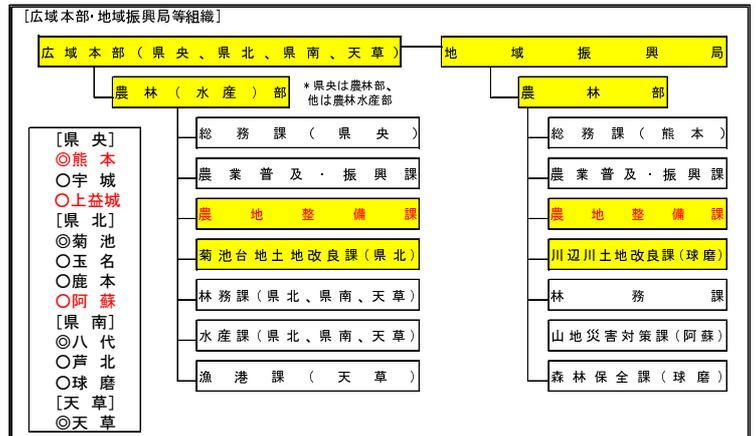
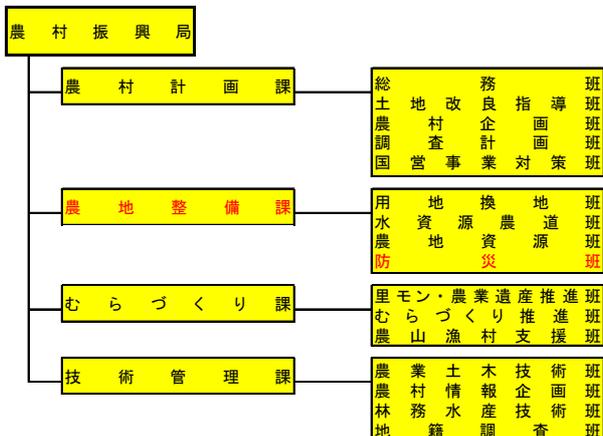
本フォーラムでは、被災した「ため池」の復旧・復興に向けた取り組みや「ため池」を利活用しながら美しい景観や農地を次世代に継承する取り組み等について情報発信します。

- 開催日時 平成29年10月19日(木)～20日(金) **★当日はくまモンも来場予定**
- 開催場所 【本会議・交流会(19日)】熊本県熊本市(熊本テルサ)  
【現地見学会(20日)】
- 参加者 行政関係者、関係団体等  
(600名程度を想定)
- 開催主体 2017ため池フォーラムinくまもと  
実行委員会  
(構成:熊本県、熊本県土連)

この機会に是非、熊本に来て  
復旧・復興の状況を見てほしいんだモン！



### ～熊本県農林水産部農村振興局関係課組織図～



(注) 赤字は派遣先の各所属を示す

問い合わせ先

熊本県 農林水産部 農村振興局 農村計画課 農村企画班

TEL : 096-333-2468

Mail : nousonkeikaku@pref.kumamoto.lg.jp